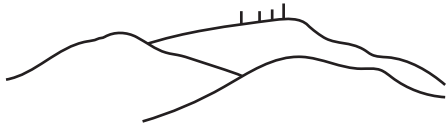


Youth Manna

2022/2/28 - 3/6



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/2/28(月)

II テモテ 4:9-22

信仰から離れてしまう人や、宣教の働きで別行動になる人もいて、この時パウロのところにはルカ一人しかいませんでした。テモテを呼び寄せたのは、パウロが自分の死期が近いことを感じていたからかもしれません。

パウロはマルコを伴って来て欲しいと書いています。このマルコとは、かつて伝道旅行を途中でリタイアしてしまった人物です(使徒 13:37-39)。彼は過去に失敗しましたが、今やパウロに信頼される人物にまで成長していました。

失敗した時、君はどんな気持ちになるかな。その時は最悪に思えたとしても、それが永遠に続く訳ではなく、神様がそこから君を成長させてくださることを受け取ろう。君に力を与えてくださる神様に信頼し、イエス様の愛を表すために今日も出ていこう！

2022/3/1(火)

申命記 31 章

120歳のモーセは自分の死が近いことを知り、自分が今何をするべきかを知っていました。まず民を導くリーダーとしてヨシュアを皆んなの前で任命すべきこと。(7.8)そしてヨシュアだけでなくレビ人の祭司、部族の長老達にみおしえを書き記したものを渡し(9)、それぞれに役割を与えて、適切に管理しつつ民に読んで聞かせ、すべての民が主を恐れて、みおしえを守り行うよう教えるように(10-13)命じました。新しい世代の民にとって主を恐れることを学ぶことは本当に大切だとモーセは言っています(13)

●モーセのように、主を恐れて(神を愛して神を第一にすること)今日すべきことをしよう！！

2022/3/2(水)

申命記 32:1-18

32章には「モーセの歌」が記されている。モーセは、イスラエルの歴史の中に現された神の真実に基づくみわざを思い起こすこと、そして次の世代に対して、父祖たちの失敗も含む経験を教訓とすることを、神の民の未来に対し、不信仰と不従順を警告して歌っている。

約束の地を前に、主が全会衆に求めているのは、神ご自身が創造されたこの世界にいるという確信と喜び、そして感謝である。神は変わることはないお方であり、私たちはその神に依り頼むことができる(1-4)。イスラエルの民が神に背を向け、大失敗を犯したときにも、神はあわれみ深い父としてゆずりの地を与えられた。神の救いは確かに揺るがないものである。(5-18)。

どのようなときにも守り導いてくださる、変わることはない神に信頼しよう！

2022/3/3(木)

申命記 32:19-35

15節以降厳しい言葉が続いている。神様が選ばれた民であるイスラエルでさえ罪の裁きを免れることはなく、敵さえも用いて裁きを下される。神様は罪に対して黙認されることはない。

しかし、これは神様がただ厳しい方だということではなく、従う者、悔い改める者には絶対的な愛で答えてくれる裏返しである。そして私たちにはイエスさまの十字架という大き過ぎる救いが与えられている。

状況、環境により私たちの心は簡単にブレる。それでも芯は神様に向けよう！神様に心から期待して祈ろう！！

2022/3/4(金)

申命記 32:36-52

神様はご自分の民をかばってくださると同時に、偶像に頼る愚かさも伝えてくれる(36-38)。偶像とは、神様以外に頼りにしているもので、それは形のあるものだけとは限らない。本当の助け、隠れ場は神様であって、偶像ではないことを心に留めよう。

モーセは歌のことばを語り終えてから、神様から語られたことばを次の世代に語り継ぐように命じました。47節をもう一度読もう！みことばはいのちだと聖書に書いてあるね。

イエス様も、人は神の口から出ることばで生きると語られたよ(マタイ 4:4)。今日みことばを読めたことを感謝しよう。そして明日も、これからも、みことばをいのちとして受け取り歩もう！

2021/3/5(土)

申命記 33 章

申命記もいよいよ終わりに近づいてきたね。今日のところではエジプトを脱出した時から、リーダーだったモーセが、地上での生涯を終える前に民を祝福することばが記されている。

まず、イスラエルの民をエジプトの苦しみから救い、導いてきた神様の偉大さを賛美して、それから12部族の祝福をしたモーセ。後半には、時代や世代が変わっても助けてくださる神様の存在を語っているね。

主はいつまでも変わりなく私たちを助け、祝福してくださる神様なんだ。そのことを覚えて、感謝しよう！

2021/3/6(日)

申命記 34 章

モーセはピスガの頂に登り、神の約束の地を一望しましたが、モーセ自身は約束の地に立つことはありませんでした。しかしモーセは、確かに約束の地を、そして救いの計画が前進し拡大することを見ました。

モーセが見た約束の地はヨシュアに、そして今、キリストのからだである教会に引き継がれています。モーセが経験したひとつひとつは、今を生きる私たちの生きた教訓です。主のしもべとしてすべてを献げ、神のみこころを絶えず求めたモーセの生涯から、私たちは何を学んだのでしょうか。

「あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。」(6:5) 今一度、このみことばを読み、自分自身の応答として、従うことができるように祈ろう！！